

【IATF16949 概要】

IATF16949 は、自動車業界特有の品質マネジメントのために作成された国際規格です。正式名称は「自動車産業品質マネジメントシステム規格—自動車産業の生産部品及び関連するサービス部品の組織に対する品質マネジメントシステム要求事項」です。IATF（International Automotive Task Force／国際自動車産業特別委員会）がルールを制定し、管理を行っています。

IATF16949 が対象とするカテゴリーは、自動車（一般乗用車、バス、トラック、二輪車／ただし産業用車両は除く）の製造段階で使用される、製品や部品を提供するメーカーです。IATF16949 認証制度に基づいて、IATF の監督機関から承認を得た第三者審査機関が、被認証組織様の審査と登録を行います。そして IATF16949 の要求事項を満たしている登録組織様から、各自動車メーカーが製品や部材を調達する仕組みとなっています。

【IATF16949 背景】

IATF16949 は、1994 年に第 1 版が作成されました。米国のフォード社、ゼネラルモーターズ社、クライスラー社の 3 社が、品質マネジメントにおける国際規格である「ISO9001」を元に、自動車産業特有の規格を加えた「QS-9000」を作成しました。

自動車業界では、部品供給の大半がサプライヤーによっており、製品製造における品質保証を確実なものにするためには、サプライヤー側の品質マネジメントが不可欠でした。

2009 年には「ISO/TS16949」が作成され、不具合や欠陥の予防、ばらつきや無駄の削減、継続的な改善などを目的とした厳格な規格が加えられ、2016 年に「IATF16949 第一版」が発行され、現在に至ります。

【IATF16949 コアツール】

APQP

先行製品品質計画新製品開発プロジェクトの運営についての規定。顧客ニーズを満たす新しい製品を開発し、営業生産へと移行するプロジェクトの計画

PPAP

生産部品承認プロセス部品調達のための方法についての規定。サプライヤーが生産部品の承認を得るための方法

FMEA

製品仕様の設計 FMEA と製造工程の設計 FMEA の 2 種類がある。
故障モード影響解析製品の製造工程において考えられるあらゆるリスクをあらかじめ分析し、対処するための手段

SPC

統計的工程管理製造工程の統計データにより、品質保証及び製造プロセスの改善を行う手法

MSA

測定システム解析製品について品質に関する測定を行う際の誤差を定量的に評価する方法

【IATF16949 スキルマップ】

従業員の業務に必要な力量を抜けもれなくリストアップし、管理する必要があります。スキルマップ（力量表）で管理することが一般的です。

スキルマップは常に最新の状態に維持する必要があります。

【有効性と効率性】

IATF16949 では特に「有効性」に重点を置きます。

有効性は、顧客のニーズと期待を満たすことに関わる指標であり、

効率性は、有効性を満たした上で社内のニーズと期待を満たすものです。